



インスピレーションになるう

Weekly Bulletin

週報 つどい

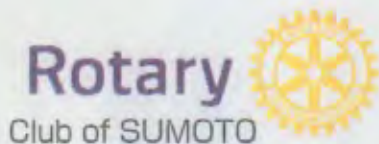
クラブテーマ：「トモニイコウ」

第2680地区
洲本ロータリークラブ

事務所〒656-0025 洲本市本町5丁目4-25 第二大宮ビル203号 TEL.(0799)22-8915
E-mail. sumotorc50@cup.ocn.ne.jp FAX.(0799)26-0101

例会：毎週火曜日12：30 三井住友銀行 洲本支店3F 会長：高鍋 直人 幹事：廣島 茂雄 広報小委員長：石村 健

第3141回例会 2018.11.6 (火) Vol. 17



「あわじ支援学校の現状について」
兵庫県立あわじ支援学校 校長 下村 勝哉 様

ホームページは sumoto-rc 検索

第3140回 2018

10/30 Report

出席委員会 (10月30日)	●先取補填者……………	0名
●会員総数……………	●本日の欠席者……………	3名
●出席必要会員数……………	●本日の出席率……………	90.91%
●本日の出席者……………	●先々週の修正出席率……	81.82%

会長の時間

会 長 高 鍋 直 人

ロータリーの歩み~その2~

お互いが心から打ち解けあえる親友となって商取引をしますので、不正や不都合な取引は起こり得ません。最初は零細な商売人に過ぎなかったロータリアンは、原価取引による物質的相互扶助と一人一業種の職業分類制度というカルテルに守られて、急速に業績を伸ばしていきました。この排他的な秘密結社のような団体に対する世間の目は厳しく、ロータリアンの中からも批判の声があがってきました。その非難を避けるために、相互扶助で儲けた金の幾ばくかを、チャリティという行為で社会に還元するという行為が行われるようになりました。

愛馬を病気で失って、馬を使った耕作も馬に乗って出かける宣教もできなくなった牧師兼農夫に新しい馬を贈ったり、街角で物乞いをしていた不具の少年を例会場に連れてきて金銭や衣類を贈った話は「Golden Strand」にでてくる、あまりにも有名な逸話です。

1906年4月に、ドナルド・カーター事件が起こりました。フレデリック・トゥイードが、特許弁理士ドナルド・カーターに「物質的互惠」の特典を説明して、シカゴ・クラブへの入会を薦めたとき、彼は職業を持って社会で生活している以上、職業を通じて社会に貢献することが自分が存在する証になるのであって、自分たちだけの利益にこだわって、社会的に何もしない団体に将来性も魅力もないと述べ、入会を断りました。その考え方に共感したトゥイードは、入会して内部から改革を実現するように説得して、カーターはこれに同意してシカゴクラブに入会します。フレデリック・トゥイードとドナルド・カーターの発案で行われた対社会的奉仕活動の実践例が、ループ地区(シカゴ中心部)における公衆便所設置活動です。当時のシカゴのループ地区で顧客用にトイレを供用していたのは、百貨店かパー位しかなく、トイレを借りる必要に迫られた通行人は、女性は化粧品を買うことと引

き換えに百貨店のトイレを借り、男性はビール一杯も飲み、バーの扉をくぐらなければなりません。もし、無料のトイレができれば、これらの店の収入に影響を与えることは、誰の目にも明らかでした。そこで既に店内にトイレを備えている百貨店協会やシカゴ醸造組合の激しい妨害を受け交渉は長引き、土地を掘り起こすまでに2年の歳月が掛かってしまいました。最終的には、建設用地と20,000ドルの補助金を市当局から引き出すことに成功して、1909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所が出来あがったのです。1907年にポール・ハリスは、クラブの充実、他の都市へ新規クラブ設立、対社会的奉仕活動の実施を公約に掲げて、会長に就任します。そしてフレデリック・トゥイードとドナルド・カーターの提案を受けて初めて行った対社会的奉仕活動が、前述の公衆便所設置活動です。

クラブは親睦と会員の事業の拡大を図るべきで、徒に対社会的奉仕活動に走るべきではないというのが、印刷業ハリリー・ラグルスの意見でした。大方の会員もラグルスの意見に賛成しました。ラグルスは自分の立場をより優位にするために、二人の新人を入会させました。それがシェルドン・スクールの設立者、アーサー・フレデリック・シェルドンと、シカゴ図書館の責任者であったチェスレー・ベリーです。運命の悪戯か、熟慮の末、彼ら二人が選んだ途は、ポール・ハリスの方針に従うことでした。シェルドンは情報拡大大委員長に抜擢されて、奉仕の必要性を経営学者の立場から説き、これに反発する親睦派の間で、激論が続きました。例会ごとに起こる激論にたまりかねたラグルスは、やおらテーブルの上に立ち上がって、「歌でも歌って、頭を冷やそう。」と言って、歌を歌い始めました。ラグルスは例会ごとに歌詞カードを自分の印刷所でコピーして持参し、激論が始まるとそれを配って自ら指揮をして、会場の険悪な雰囲気や和らげました。これがロータリー・ソングの始まりと言われています。



プログラム

炉辺会合の報告

会員増強のため、会員が五つの班に分かれて「炉辺会合」（家庭集会）を開き、「ロータリーに入って感動したこと、またはがっかりしたこと」などをテーマに、自由に話し合った。また、会員候補者について、氏名を具体的に挙げた。第3140例会では、議論の内容を各班の代表者が報告した。

(以下、会員名は敬称略)



亀本 和秀 君

(出席者は番所利行、木戸清隆、岡田雅博、高鍋直人、寺内洋二、亀本)

感動したことは、「人」に尽きる。「RCに入会し、すごい人と知り合えた」「RCの人は品格があり、刺激になった」との意見が出た。会員の人格に触れたこととともに、友人の輪が広がった一との声も多かった。「仕事の付き合いでは知り合えない、地元の方々と知り合うことができた」「RCを通じて、島外も含め知人が増えた」など。

また、週に一度、昼食を取りリラックスできる点も魅力になっているようだ。

一方、がっかりしたこととしては、「立派な人の中において、自分にコンプレックスを感じる」「RCになじんでいない自分のがっかりする」ことが挙げられた。

仲間の退会がづらい一との声もあった。

具体的な会員候補名については、増強委員会に報告する。



坂本 竜之介 君

(出席者は秦 紳一郎、廣島茂雄、石濱義民、長手康祐、中村尚義、寺岡良祐、坂本)

RCに入って良かったことは、①人格的に成長できたことだ。立派な先輩と出会えた。人の役に立つために時間、労力を惜しいと感じなくなったのはRCにいたからだ。②仕事について深く考えるようになった。職業奉仕の議論を通じて、自信を持って仕事を遂行するようになった。また、奉仕について、RCの打ち出す深い意味を考えるようになった。③人のつながりが広がった。さまざまな職業の人と知り合え、仕事上の付き合いでは見上げるような形でお付き合いせざるを得ないような人が対等な立場で迎えてくれたのがうれしい

がっかりしたのは、時間を取られたり忙しくなったりすること。少しつらい。

「何度か『やめたい』と思った時期がある」との声もあった。

具体的な会員候補名については、増強委員会に報告する。





長井 康洋 君

(出席者は森崎文雄、太田勝之、柴田拓二、柳 弘一郎、長井)

メンバーは会長、幹事経験者が多く、「感動したことは？」とお尋ねしても、まともに答えて頂けない。挙句の果ては「親でもなければ子でもない。それが勘当じゃー」との声が上がり、これを受けて別の方が「勘当された道楽息子に札をつけたのが、『札付き』という言葉の始まり」と、のたまう始末…。

がっかりしたことを問うても、「うーん」と頭を抱えるばかり。

「あまり期待して入っていないので、がっかりしたことはない」。うちのグループはこれをもって結論とします。



鵜飼 徹 君

鵜飼会員の写真が撮れていなかったので過去の写真を使用しました

(出席者は倉本 賢、明石和男、藤井啓誠、舛田一夫、坂田幸男、鵜飼)

RCに入って感動したことは、友人が増えたことだ。友人は洲本RCにとどまらず、淡路グループにまで広がる。友人が増えて「仕事も増えた」という人もいた。

その仕事に誇りを持てるようになったことも、入会して良かったことだ。「ロータリアンになってからは、(仕事で)『悪いことはできない』『間違いはできない』と思うようになった」との意見が出た。

がっかりしたことに挙げられたのは、時間に拘束されること。とりわけ「一人で仕事をしている人に対し、時間への配慮が足りないのではないか」との疑問が呈された。金銭面の負担や、本来は対等であるはずなのに実際には上下関係がある一との指摘もあった。

具体的な会員候補名については、増強委員会に報告する。



木村 一郎 君

(出席者は不動正章、藤岡照三、井口昌亮、山田由希子、戸田公三、横井哲行、木村)

会合では、入会候補者を数人挙げた。これから、(勧誘に)始動したい。

RCに入って感動したことを語ってもらったところ、具体的な体験を話した人がいた。感動というのは、リアルであり、真実である。そんな感動が、ロータリーを継続していく上で、原動力になると思う。





- ソング 四つのテスト
- ゲスト なし

幹事報告

幹事 廣島茂雄

1. ガバナー事務所より

- ・ロータリー研修デーのご案内を拝受
12月2日 加古川プラザホテル 10時～17時
- ・淡路ロータアクトへのガバナー公式訪問のご案内を拝受
12月3日 19時～20時
みずほ証券洲本支店 3階会議室にて
- ・次年度の補助金管理セミナーのご案内を拝受
12月16日

2. 淡路グループより

- ・淡路三原RC・津名RC・南淡路RC・あわじ中央RCより週報を拝受
- ・淡路グループ森崎ガバナー補佐から会長幹事会及び忘年会のご案内を拝受 12/3 20時10分～

3. 当クラブより

- ・11月4日 ロータリーフェスタ参加ツアーの最終確認
- ・洲本RC事務局員の退職と新任事務局員の雇用を本日理事会で検討及び審議いたします。

4. その他

- ・脇町RCより週報を拝受

委員会報告

- ・IM実行委員会(木村副実行委員長)
第4回実行委員会 中間報告(進捗状況報告)
「プログラムについて」「リハーサル 11:00 現地集合」「招待者(矢野ガバナー、高瀬ガバナーノミニー参加)」「記録誌について」「アトラクションについて」「送迎バスについて」
- ・青少年奉仕委員会(太田委員長)
矢野ガバナー淡路ローターアクトクラブ公式訪問
日時 12月3日 19時 20時 みずほ証券洲本支店 3階会議室
会長・幹事会 18時 15分より 30分 みずほ証券洲本支店 3階会議室
- ・柳君より蒼開中・高校ジャズバンド部コンサート協賛の依頼(締切 11月12日)

ニコニコ会計報告

- ・炉辺会合お疲れ様でした! 高鍋直人君
- ・株式会社柴田工務店「創立90周年式典」おかげ様で無事終わりました。柴田拓二君
- ・柴田さん、90周年おめでとうございます。石村 健君
- ・祝、柴田さん! 感謝、横井さん! 太田勝之君
- ・欠席のお詫び。木村先生、山田さん、ありがとう。戸田公三君
- ・早退のお詫び。寺内洋二君
- ・早退します。番所利行君

本日合計	14,000円
今年度累計	257,000円
目標	500,000円
達成率	51.4%

キラキラ会計報告

- ・柴田工務店創立90周年、おめでとうございます。横井哲行君
- ・柴田工務店90周年おめでとうございます。不動さんありがとうございます。木村一郎君
- ・柴田さん、先日はありがとうございます。井口昌亮君

本日合計	4,000円
今年度累計	93,000円
目標	200,000円
達成率	46.5%

